

第2回境港市みんなでまちづくり推進会議会議録

日時：平成26年5月9日(金) 18:30~21:00

場所：中央公民館

日程

1. 開会
2. 平成26年度境港市市民活動推進補助金の審査
3. 閉会

出席者（敬称略）

植田建造 遠藤恵子 梶川恵美子 門脇紀文 門脇京子
土田良和 徳尾勝 松本幸永 水田浩司 渡部敏樹

欠席者（敬称略）

石橋文夫

<開会>

（地域振興課長）

本日はお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。いつも貴重なご意見や熱心な議論をいただき、感謝申し上げます。第4期になって初めての審査会です。よろしくお願いいたします。まず、私はこのたびの人事異動で地域振興課長を仰せつかりました高橋でございます。この事業の担当であります北野、森はそのままですので、引き続きよろしくお願いいたします。審査会の進め方につきましては事務局より説明いたします。

（事務局）

審査は審査員をみんなでまちづくり推進委員のなかから3名選出し、地域振興課長と合わせて4名で審査を行います。推進委員から選出する審査員は事前に相談をして決定しました。

本日はプレゼンテーションを4団体にしてもらいます。一般事業の新規が1件、継続が2件、緑化事業の新規が1件となっております。1団体15分間で、まず最初に3分間で申請概要説明をしていただき、残りの12分間で審査員に質疑をしていただきます。その間審査員以外の方には傍聴していただきます。

プレゼン終了後の19:45から皆さんで討議をいたします。審査表などを参考に一件ずつ採択、不採択、修正の確認及び決定をしていただきます。なお継続の緑化事業につきましては書類審査のみで、市として緑化事業は極力認めたいと思っています。審査の視点としまして、住民の参加度や経費、補助金が無ければできない事業かなどについて見ていただけたらと思います。

それでは、プレゼンに移ります。

<申請団体によるプレゼンテーションの開始>

◇1 団体目 境港市立渡小学校 PTA

- ・申請事業 花いっぱい運動
- ・事業内容 児童が一人一鉢に取り組んだり、栽培委員会で花を育てる。また、保護者、地域ボランティアを募り、育てた花を公民館や福祉施設等地域に配り、美化活動に対する意識を広めるとともに、自分たちの学校や町への愛着心の育成を図る。

(地域振興課長)

昨年は人権の花運動に取り組まれたということですが、それ以前はどうだったのですか。

(渡小学校 PTA)

昨年から赴任したのですが、それ以前はしていなかったようです。

(地域振興課長)

他の小学校にも利用してもらっておりますので、渡小学校にも頑張ってもらいたいです。学校ではどうしても入学式、卒業式の花がメインとなってくるかと思いますが、地域の方との結びつきを重視して、長く継続していただけたらと思います。

(渡小学校 PTA)

渡校区の地域の方々はとても学校に協力的で、いろいろな事をやっていただけてます。子どもたちの学習面もサポートしていただけますので、人権の花運動につづいて花いっぱい運動もつながりの一つとしてやっていきたいと思っています。

(委員)

花いっぱい運動は長い間やっているところが多いのですが、同じような活動となり、拡がりなくなってきました。補助金を出すからには拡がりを持たせてほしいですね。

地域といっしょにやっていくという点で拡がり期待できると思いますので、ぜひ拡げていただけるように、有効に使っていただけたらと思います。

(渡小学校 PTA)

今年から少しずつでも地域との交流を積みあげながら、子どもと地域をつなげる一つの手段として活用したいです。

(委員)

一人一鉢は責任を持たせるにはよいと思いますが、見積もりを見ると購入される花がマリーゴールドやサイネリアで小学生が育てるには難しい花じゃないかと思いました。パンジーやビオラといった比較的育てやすい花から始められたらどうかと感じております。

(渡小学校 PTA)

昨年度の人権の花でパンジーを育てましたし、検討してみます。

(委員)

私は逆におもしろいなと思いました。パンジー、ビオラはどこでもやってるので。挑戦という意味でいいなと思いました。

(委員)

作業の際には PTA の方に積極的に応募をかけるということですね。

(渡小学校 PTA)

PTA の部の中で、芝生管理部や母親委員会といった部会とタイアップしながら計画を立てているところです。活動の主は学校側となるので、PTA と協力しながらやっていきたいと思えます。

(委員)

補助金制度で行っているということを、PR してください。

(渡小学校 PTA)

フライングですが、4月27日にPTA総会がありました。その中で補助金を申請していますという報告をいたしました。あわせて、ぜひ協力してくださいと保護者の方々へお願いしました。

今後も学校だよりや PTA だよりに掲載したいと思えます。

◇2 団体目 青少年育成境港市民会議境地区部会

・申請事業 第2回落書き大会

・事業内容 平成26年6月22日に本町商店街アーケード内、水木しげる記念館前において境港市内の小学校児童・保護者、観光客、地元参加者で道路の所定場所内にチョークで自由に落書きを行い、写真撮影を行う。後日HPにて落書きをアップし、関係各所にリンクをお願いし、地域、学校、家庭等での話題作り、思い出作りとしてもらう。

(委員)

昨年この話を聞いたとき、新しい活動でおもしろいなと印象に残っています。今年も申請していただき、計画を見せていただきましたが、事業が拡大していくような方策がとられていて、あらためて大きな事業となっていくんじゃないかと思いました。そうなるとスタッフ側としては大変な面も出てくると思いますが、今年は中高生のボランティアを募りますね。中高生だとスタッフでありながらも、落書きにも一緒に参加してもらえる。とても良い工夫だと思います。補助金を有効に使っていただける代表的な事業だと感じていますので、さらに輪を広げていただきたいですね。楽しみにしております。

(委員)

昨年のぞいてみましたが、小さい子が多かったですね。一緒に来てた大人たちも楽しかったんじゃないかと思えます。そのような方でリピーターとなる人もいないか

と思いますが、参加者 600 人の見込みは少し少ないんじゃないでしょうか。また、これ以上の参加者が来た場合、ボランティアも足りなくなるんじゃないかと思います。

(青少年育成境港市民会議)

昨年は 500 人の参加見込みで申請しましたが、多くないかと言われましたが、実際やってみるとたくさんの人に集まってもらえました。今年も 600 人と書いておりますが、もっと多くなるかなという読みもしてますし、そうやってほしいという希望もあります。ボランティア 30 名を予定しておりますが、たくさんのお応募がありましたら少しの時間でもいろんな方に手伝っていただけるような体制は取っていきたくですし、柔軟に対応したいと思っております。子どもへのおやつもギリギリでなく余裕をもたせて準備していきます。

時間によって参加者に波がありまして、多い時は落書きできるスペースが足りなくなってしまう恐れもあります。今年そのような状況になれば、範囲を広げる等していきたくです。アーケード全体を活用できたらいいなというようなイメージも持っていましたので、たくさんの方に参加してもらって、スタッフも体制を整え、楽しく思っただけのような事業にしていきたいなと思っております。

(青少年育成境港市民会議)

昨年は県外の児童も 86 名参加してもらいました。観光客の方もどうぞとアナウンスしてたのですが、こんなに参加者がいたなんてびっくりしました。少しかもしれませんが観光面でも貢献できたかなという喜びもありました。

(委員)

中学校や高校へのボランティア募集案内はボランティアセンターを通された方がスムーズかと思います。

ボランティア昼食費が上がっていますが、補助対象になるのでしょうか。

(事務局)

基本的に食糧費は認めておりませんが、ボランティアの方や、講演会の講師さんへの昼食費は事業に必要なものとして認めております。ただし、おかしは参加賞ですので対象外となります。

(地域振興課長)

昨年はチョークの寄附があったようですが、今年はどうでしょうか。

(青少年育成境港市民会議)

昨年千単位で寄附していただいたので、今年分も十分な数が残っており、今年度は予算に計上しておりません。

(委員)

もっともっと充実させていかなければいけないところが出てくると思います。ですので、これだけの補助金では足りない部分があるかもしれませんが、県や他の補助金もありますので、活用されたらいいなと思います。

◇3 団体目 境港ベニガニ有志の会

- ・申請事業 ベニガニ普及啓発活動！
- ・事業内容 市内幼稚園、保育園の年長児を対象とした食育、中野港漁村市、水木しげるロード、米子鬼太郎空港でカニ汁やカニ雑炊を振る舞い、地元住民や観光客の方々に紅ずわいがにの魅力を再認識してもらう。

(委員)

ベニガニ有志の会の活動はかねがね、見たり聞いたり、実際に行ったりしていました。カニ汁の振る舞いは無料でやられていますよね。あれだけすれば資金もかかっているだろうから、どこから資金を調達されているのか不思議でした。

(境港ベニガニ有志の会)

昨年は県の補助金を使わせてもらっていました。

また、誰でも、どんなイベントでも無料で振る舞いしますよということではなくて、事業全体を客観的に見て、どんな人が来場されるか、どんな人が手伝いに来るのかで判断しています。

イベントをした結果、広がりなどの期待が持てるものについては無料で気持ち良く振る舞いをさせてもらっています。

イベントを行う際に、食は非常に重要な要素ですが、実際やると難しいですね。そこで私たちに頼んでいただけたらという間口を設け、私たちをフィルターにして、多数の方に納得してもらいたいというのが私のスタンスです。

(委員)

どんどん波及して行って、いろんなところでいろんなイベントに参加されていて、資金的にどうなってるのか、本当に気になっていました。

(境港ベニガニ有志の会)

今年度は境港市の補助金を使わせてもらって、新規ではないですが、10年20年続く、継続的な事業としてやっていきたいです。やがて、子どもたちが大人になった時に引き継いでくれるということを目指しています。

(委員)

営利活動もされているんですか。

(境港ベニガニ有志の会)

収入は会費と、水産祭りでの売り上げだけです。これがないと、予定している食育や振る舞いができなくなります。

(委員)

漁村市はどうですか。

(境港ベニガニ有志の会)

漁村市は完全な振る舞いとしました。ベニガニ有志の会と漁師さんが一緒になって地域のお客さんを巻き込んでいく方針としました。

(地域振興課長)

保育園、幼稚園での食育では大変お世話になっております。カニの手配から、調理、子どもたちへの提供までやっていただき、食育として大変ありがたい事業です。また、観光面でも力になっていただいておりますので、補助金を活用してもらって、末長く事業を継続拡充していただけたらと思います。

(委員)

わたしも保育園に行くことがあるのですが、園児が今日は「マグロデー」だよとか「カニデーだよ」という声を聞きます。こういう声が出る場所からも子どもたちがさかなを好きになってきてるんじゃないかと思います。この子たちが大きくなったら境港出身だと自信と誇りを持って言えると思います。ぜひ続けていってください。

(委員)

中海テレビで、活動の様子をよく拝見しております。頑張ってください。

◇4 団体目 子どもたちと綿をつくろう会

・申請事業 子どもたちと綿をつくろう会

・事業内容 渡小学校の児童が伯州綿の歴史を学習、綿を栽培し、出来た綿で製品を作る。
また、綿茎を原料とし、和紙漉き体験を行う。ふるさとの歴史を学び、地域の住民との交流を通じ、郷土愛を育む。

(委員)

看板は去年も作られていましたよね。

(子どもたちと綿をつくろう会)

これまでは手づくりしてたのですが、一年でぼろぼろになってしまいました。ですので、専門の業者に頼もうという話になりました。

(委員)

一去年は風呂敷、去年は座布団を作られましたが、子どもたちの評判はどうですか。

(子どもたちと綿をつくろう会)

風呂敷は子どもたちも感激してましたが、保護者の方が大変喜んでいました。

(委員)

作業日誌を見るとボランティアの方は同じ人が多いですね。

(子どもたちと綿をつくろう会)

綿は天気左右されますので、必ず土日にするというわけにいかず、平日作業をしないといけない場合もあります。そうなる出ての方が限られてきますね。

(委員)

農業を事業にして、それを子どもたちとやろうというのはすごく難しいです。子どもたちが出られる回数は限られてますが、農業というのは常に手をかけていないといけません。そこをどうやっていくか考えていかないと続けることができなくなると思います。それだけ農

業は厳しいものなんですね。我々がメインでやって、子どもたちも加わってますよではだめで、自然と接する、自然の恵みを得るということを子どもたちが感じてくれるように活動していけないといけません。拡げていくというのが補助金を使う一番大事な事であるので、活動に賛同してくれる人を作っていくのかというのを考えて使っていただきたいです。

(子どもたちと綿をつくろう会)

サポーターを増やしていかないといけませんね。

(委員)

子どもたちの思い出作りではなく、考える場となると良いですね。

<プレゼンテーション終了>

(会長)

それでは審議に入りたいと思います。みなさんプレゼンをお聞きになりまして感じたことなどがあれば発言していただけたらと思います。まずは「渡小学校 PTA」から意見をお願いします。あまり発展性のない事業ですが、緑化運動として活用してもらおうということです。

(委員)

育てた花をどう配るかですね。

(会長)

他の学校で同じような事をしてるところはあるんですかね。

(委員)

福祉施設へ配ってるところは多いですね。境港総合は余子駅にも置いてますね。

(委員)

花も立派に育ててます。

(委員)

花が終わったら回収に行くんですかね。

(委員)

そうですね。

(委員)

プランターはどうしてるんですかね。何年も申請されてるところでも毎年計上されていますが、1年で使えなくなることはないですよ。

(委員)

プランターは劣化しますからね。

(委員)

1年でダメになることはないでしょうが、見た目は悪いですよ。

(委員)

綺麗な花が咲けば、プランターの汚れは気にならないですけど。使えるものは使えるだけ使います。

(委員)

申請の時に、プランターの使用計画を示してもらったらいんじゃないでしょうか。例えば今100個プランターがあって、そのうち20個は古いので廃棄し新たに購入しますのような。そうすれば分かりやすいです。

(委員)

立体的に展示するなどの工夫がほしいですね。

(委員)

渡小学校にお願いしたいのは「工夫」ですね。

(会長)

マンネリ化しているような気がしますね。

<採択>

(会長)

続いて、落書き大会です。

(委員)

ひとつ引かかるのですが、収支決算書に育成会費（市より助成金）とありますが、これはどんな助成金ですか。

(委員)

これは各地区の育成会へ出るお金ですね。

(委員)

このお金はすべての事業に使えますよね。だとすると、要綱からいくと補助対象事業にならないと思うのですが。この落書き大会にも使えるものなので。

昨年の申請の中で会員は会費を払っているから無料、一般は有料にするという申請がありました。審査の際にそれは公平性に欠けるという議論がされましたが、これも同じ話だと思うんです。落書き大会に市からの助成金を使えるわけですから。そこで要綱の4条2項を修正すべきだと思います。

境港市市民活動推進補助金交付要綱

第4条 本補助金の交付の対象となる取組み及び事業（以下「補助対象事業」という。）は、内容、時期、経費等が市民活動を促進するために適当であると認められる取組み及び事業であって、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 市民活動団体設立準備のための取組み及び当該市民活動団体が実施する事業
- (2) 現に活動している市民活動団体が新たに取組む事業又は活動を拡充するための事業

(3) 個人、市民活動団体が連携又は実行委員会等を組織して行う事業

(4) 花いっぱい運動及び緑化事業

(5) その他市長が必要と認める事業

2 補助対象事業のうち本補助金以外に市及び市教育委員会から補助金等を受けることができる事業は、前項の規定にかかわらず補助対象事業としない。

(会長)

考え方としてですが、この申請は落書き大会としての申請ですよ。育成会費（市からの助成金）というのは団体へ出ているもので、境地区部会以外の部会にも出ているお金なので申請事業とは分けて考えていいと思います。

(委員)

その助成金が落書き大会に使われているか、使われていないかは証明できませんよね。なので要綱を変えましょうよという話です。

(地域振興課長)

4条2項の補助対象事業というのは今回でいう落書き大会です。ですので「落書き大会」という事業に市及び市教育委員会から補助金が出ていた場合は対象外ですよということです。

(委員)

そこがこの4条2項からは読み取れないということです。ですので、市及び市教育委員会から「当該補助対象事業のための」補助金等を受けることができる事業は…と書かないとそうは受け取れないです。

(地域振興課長)

(1) から (5) にあたる事業のうち、本補助金以外から補助を受けることができる事業という趣旨で書いてあります。

(委員)

なので、もっと明確にするために言葉を追加した方がいいということです。

(地域振興課長)

このままでも読めます。育成会費は本事業への補助金ではないわけですから。

(委員)

事業予算書の自己負担金というのは育成会費からも出ますよね。そこをどう区別するかということです。前年度繰越金にはバザー収入や礼金が25年度の収入としてありますが、ここに育成会費もまぎれている。ということは自己負担金の中にも含まれている可能性もあります。全く使っていないとは言い切れません。

(事務局)

育成会費は事業への直接補助ではないですよ。

(委員)

直接補助を受けることができる事業が対象外となると読み取れないんです。落書き大会

はいい事業だと思いますので、要綱に抵触しないようにするためには変えた方がよいのではないのでしょうかということです。

(事務局)

「本補助金以外に」とありますが、落書き大会を行うために市民活動推進補助金に申請した場合、市や教育委員会の他の補助金に申請して資金を得てはいけませんという意味で書いてあります。

育成会費は会が活動するために必要な助成金で、この事業をするしないにかかわらず出るお金です。ですので、落書き大会を行うための補助金申請は市民活動推進補助金だけであると読めます。

(委員)

役所の人はその読めるかもしれませんが、一般のわたしたちには読めません。

(委員)

問題提起されたので、事務局側で検討してもらいましょう。

<採択>

(会長)

次は、ベニガニ有志の会です。幅広く活動されていますが、会長自らが資金を負担している面があるようです。

(委員)

申請書の活動内容に「柔軟に、精力的に」とありますが、その通りに活動されていますので、申し分ないです。頑張ってもらいたいです。

(委員)

中山間地域にも赴かれると PR になると思います。

(委員)

市外にも出られてるようです。確か日野町にも行ったはずですよ。

(委員)

市民の森もありますよね。

<採択>

(会長)

子どもたちと綿をつくろう会です。

(委員)

予算書を見てみると収入額と支出額が同じで、来年度の繰越金がなくなってしまうことを心配しています。

(委員)

その年その年でやっていますので、赤字が出たら負担するしかないです。

(会長)

資金面での余裕は全く出てきませんので、我々も肥料などの寄附をしています。これから考えないといけないのですが、今会費をもらっていないんです。補助金だけで運営するのは変ですし、予備費が作れないですし。

(委員)

今回、前年度繰越金があるのはどういう理由ですか。

(委員)

寄附金をいただいたんです。その方々へ残っていたふろしき 30 枚を差し上げました。

(委員)

PTA 会費から何とかありませんかね。

(会長)

補助金があるうちに、会としての形を作っていくといけません。補助金頼みでは進歩もないし、拡大もないでしょうから。

(委員)

自滅しないようにするためにも、今が正念場ですね。

(会長)

そうです。会を固めていかないとはいけません。

<採択>

(委員)

緑化事業の継続については問題ないと思いますが、先ほども話があったようにプランターの管理について計画が必要だと思います。

(委員)

花の周辺の雑草が気になりますので、草取りも必要ではないでしょうか。

(委員)

草むしりしててもすぐ生えてきちゃうんでしょう。

(委員)

公共の美化という点も忘れず実施してほしいですね。

(委員)

ちょっとしたものでもいいので看板もあるとうれしいです。

(委員)

市民の方も補助事業だってことが分からないですしね。

<採択>

(会長)

今回申請のあった事業はよい案件が多く、将来こういうものがたくさん出てくるようになるともっと市民活動が広がっていくのではないかと思います。

(委員)

例えば一つの団体が同じ年度内に複数の事業を申請してもいいのでしょうか。要綱にはいいともダメとも書いていないんです。

(委員)

ダメとは書いてないですね。

(委員)

事業を変えれば同じ年度内でも申請することができるという解釈もできます。

(委員)

同時に2事業の申請がある場合も考えられます。

(委員)

先の意見と合わせて、どういう解釈をするのか、はっきり明記させた方がいいのかどうか、事務局として考えておいた方がいいと思います。

(会長)

事務局に検討していただきましょう。

<閉会>